

箕面市議会議員アンケート(2)

みのお議会ウォッチングの会

		日本共産党(連名で回答)				無所属	無所属	無所属	公明党			民主党			
設問		議員名	神田	斎藤	名手	羽藤	増田京子	北川照子	内海辰郷	西田隆一	牧原	田代	二石博昭	川上	中島
議会費	削減が必要なもの						役員加算	審議会委員報酬・役員加算	議員定数の削減	議員定数の削減	回答なし	回答なし	議員定数の削減	回答なし	回答なし
	増やした方がいいもの	—				調査研究費	—	—	—	—					
	その理由	会派の行政視察を廃止し政務調査費で行くべき。行政視察は委員会の視察のみにする				報酬は、生活給でいいが、調査費研究費は必要。できれば事務費、人件費などがあればもっと調査や研究ができ、本来の職務である条例提案なども可能になる	—	少数精鋭	—	時代の趨勢					
議会の政策能力を高める	必要と思われるもの(1.議員研修の充実 2.議会を補佐する事務局の充実 3.議員力検定制度等の活用・その他)	議会を補佐する事務局の充実				議員研修、事務局、政務調査費の充実	事務局の充実	事務局の充実	事務局の充実						
	その理由	一人ひとりの議員及び会派で能力を高めるべき				—	議員間の討議、審議会の傍聴・資料配布	二元制を均しく運営する為に、議会側の体制は余りにも脆弱	—	議員個人の資質と意識に左右されますが、日々の努力と協調性があれば、自ずと政策能力は高まる					
市民に開かれた議会	必要と思うもの(1.議会用語の改善 2.議下での質問の改善・イ.一問一答方式ロ.反問権ハ.議員間の自由討議 3.市民や参考人の議会での発言認可)	—				議会用語、一問一答、反問権(理事者が正しく理解していなければ、議員への攻撃になりかねない)、自由討議、参考人の議会での発言	一問一答、反問権、自由討議の採用	反問権、自由討議	議会用語、一問一答、反問権、自由討議	反問権、自由討議					
	その理由	請願者に委員会での提案理由の説明と答弁をしてもらう。紹介議員は、本会議での提案と、委員会での答弁をする。会議規則第90条を改正する必要がある				議員発言に時間制限をかけることは、議員活動を制限することになる	—	言論の府の活性化が必要	—	箕面市議会は積極的に情報公開や情報提供を行っている。議論を更に深めるために、反問権や議員間討議制を導入すべき					
市民に身近な議会	必要と思うもの(1.休日・夜間の議会開催 2.公聴会の開催 3.議会報告会の開催、その他)	公聴会の開催(委員会条例第20ー26条に規定されている、必要に応じて開くとよい)				休日・夜間の議会、公聴会や議会報告会、常務委員会を各コミセンで実施	休日・夜間の議会、公聴会、議会報告会	休日・夜間の議会、議会報告会	休日・夜間の議会、公聴会、議会報告会	休日・夜間の議会、公聴会、議会報告会			今のままでいい		
	その理由	—				休日・夜間の議会(実施している自治体もあるが、効果があまりあげていない所もある、ライブでの傍聴は、やり方の検討が必要)	—	開かれた議会運営をめざすべき	—	議会はしっかりと議論して、市民の為の政策決定することに尽きる					
その他	本会議で自席での質問・答弁	—				賛成(最初の質問は議場、後は自席で)	賛成	どちらでもよい	賛成	賛成					
	議会改革会議の市民の傍聴	賛成				賛成(議会改革の会議なのに、他の議員はこの会議には傍聴できない)	賛成	賛成	どちらでもいい	賛成					
	政務調査費・収支報告書・視察報告書のホームページへの掲載	賛成				賛成(報告書をしまっておくだけなのはもったいない、市民と共有すべき)	賛成	賛成	賛成	賛成					
市議会改革への自由記述		—				同じことを発言しても、少数派が発言すれば×、多数派なら○になる。どの議員も選挙で選ばれて対等で、お互いの立場を尊重しあうなら、もっと議論が深まるはず。議会報告や市政の事を伝えたり、現場の視察、調査研究にも経費がかかる。地方分権でも、国の政策を把握しないと、表面的な議論しかできない為、国の担当者の説明を聞く必要があり、こういう調査研究の為に政務調査費が不可欠。公聴会、参考人招致だけでなく、要望や請願に対しても議会が直接聞くという場が必要。他に、効率が悪い委員会視察の見直し、グリーン車の完全廃止。議会だよりをもっと読みやすく。	市長提案の議案に対しては、市長部局に対する質疑が終わった後、委員同士で議会の総意を図るための討議の時間が必要。今の「意見」を述べる時間を、ただ自分の意見を一通り言い合うだけでは、議会の総意を納得いく形で見極められない。・一人会派を認め、一人でも多くの意見書を出せるようにする。意見書の扱いを透明にする・議会改革会議は一人会派からも出られるようにする。・たった25人の人数で会派主義を取る必要はない、一人一人が是々非々の立場で臨むのが基本である	—	—	箕面市議会では、普段から議会改革に取り組んでいる。H20年に議会改革会議を立ち上げ、議論してきた。①代表質問と一般質問の動画配信②決算審査の前倒し③本会議場演壇の障がい者対応④本会議場傍聴席の環境改善、今後も情報公開。情報発信、議会運営、議員意識、市民意識、市民感覚を意識しながら、必要な改革を実行。議会の役割は、しっかり議論すること、課題や論点を明確にし、合意形成を図ること、市としての政策決定することです。					